



高田地区キャラクター
「たかたん」

高田町内会だより

第 41 号
発行日: 令和5年11月1日
発行者: 高 田 町 内 会
会 長 相 沢 一 夫

“ 高田 ” の思い出

高田町住宅親交会 会長 井堀 聖士



井堀聖士様

当町内会は、子母口綱島線に沿った高田東1丁目400世帯で構成され、高田町連合町内会8町会の中で高田町内会に次いで2番目に古い町会です。町内には、いっとき避難所にもなる「ひまわり公園」や 幼稚園(桂幼稚園)があります。私自身も昭和26年からこの地に住み当時は自宅裏から電車が見える田園風景が広がる自然豊かな住宅地でした。今でも残る強烈な思い出は、昭和33年、41年の2回の台風による床上浸水です。昭和33年当時、2階家はほとんどなく、避難は屋根の上でした。現在は河川整備が進み床上浸水に至る水害はほとんどなくなりましたが、油断禁物と自分自身を戒め、それが現在の町会活動の原点にもなっています。毎朝の日課として、自分の成長を見守りいろいろな思い出を残してくれた天満宮、興禅寺、塩谷寺、学校そして早淵川を回るウォーキングで毎日の平和をかみしめています。

昔、高田小学校校庭での映画、天満宮のお祭りが妙に懐かしい今日この頃です。

横浜信用金庫様が歩道の清掃活動

今年7月に創立100周年を迎えた横浜信用金庫が、2019年から地域社会の一員として SDGs に取り組んでいます。今年度は営業店ごとの「SDGs 活動コンテスト」を行っており、高田支店では歩道の清掃をされると聞き、同行取材させて頂きました。



8月23日は歩道を、支店前から高田駅入口交差点を渡って折り返しました。



24日は早淵川の側道を高吉橋を渡って折り返しました。二日とも立っただけで汗の出る暑い日の活動でした。お疲れさまでした。

「無事ですタオル」掲示訓練

9月3日(日)に行いました。掲示数は合計 830 会員でした。内訳は次の通りです。

1区 418 会員、2区 269 会員、3区 143 会員

昨年は合計で375会員でしたので2.2倍になりました。

訓練日を参加しやすく、また掲示数を計数するのに都合の良い9月3日の休日としました。しかし9月1日の「防災の日」とすべきとの意見があり、検討することにしました。

長寿のお祝い

189名の長寿の方にお茶またはコーヒーを贈呈

区	古希 70	喜寿 77	傘寿 80	米寿 88	卒寿 90	白寿 99	百寿 100	それ以上
1	7	24	32	16	13		1	1
2	8	17	15	14	7		1	
3	5	9	5	6	7			1



贈呈数が去年の168名より21名増えました。

昨年は団塊の世代が70歳(古希)のお祝いと、77歳(喜寿)のお祝いの中間にあったのではと思われ過去最少人数でした。今年度は団塊の世代の最年長の方が77歳に到達し始めたことにより増えたと思われます。おめでとうございます。

たかた防災ふれあい祭り 高中校庭10月8日(日)

高田町連合町内会主催で高田地区大運動会を改め、初めての「たかた防災ふれあい祭り」が開催されました。参加者の最大ブースは185名でした。



初期消火体験 (消防団)



起震車体験 (港北消防署)



ミニ消防車 (港北消防署)



持久走 (スポ進・青指)

その他、保健活動推進員による体力測定や防災拠点による段ボールベット、トイレバック、家庭防災員による新聞スリッパ作りなど盛沢山でした。

第10回会員交流会 (河口湖周辺)10月21日(土)



昨年度の交流会は今年の2月に千葉、今年度は秋の河口湖周辺です。参加者33名でした。

まず最初に訪れたのはハーブ庭園「ふじさんデッキ」です。

ハーブは香りをイメージしますが、ローズゼラニウムなどは保湿効果があるなど、面白おかしく説明を受けました。その間に雲に隠れていた富士山山頂がやっと現れました。

次の訪問先は北口本宮富士浅間神社とその入り口のうどん屋



さんです。ほうとうを食べてからお参りに行きました。帰りは御殿場のえびせんべいの里でたっぷりと試食し、コーヒーを頂いてきました。

河口湖もみじ回廊と忍野八海は時間の都合で行けず残念でした。

高田って どんどころ? -37-

—高田地区の柿—

晩秋の頃高田の台地上を歩くと、畑や地元の方の敷地に赤や黄の実をつけた木を見かけます。近づいて見ると、たわわに実った柿や柑橘類の木でした。柿の実を見ていてふと気付きました。大きさや形が違うのです。丸形や、横から見ると四角っぽいものもあります。



幹に苔がついている古木の実は丸くて小さいです。果樹園の方に聞くと「栽培しているのは、富有柿」との事でした。その他に次郎柿・百目柿等があります。

「愁思・雅楽の韻律・高田」(1985年11月:港北区役所社会教育係発行)の中に、時代は不明ですが、地元の方が次のように書いています。「高田村の物産(略)都筑郡内の生産物は他地域に比べ、特産品があるわけでもなく、強いてあげれば禅寺丸柿



左:富有柿、右:禅寺丸柿(提供関口理事)

ぐらいであろう。」とあります。この禅寺丸柿は、約650年前川崎市の柿生にある王禅寺の住職が裏山で見つけ、食べたなら美味しいので移植し増やした。それを寺領の農民に推奨しました。ある方のお父さんが「黒糖のように甘い」と言われていたそうです。

これが高田にも伝わって地域に禅寺丸柿の植栽が始まったようです。(M.M)

編集後記 町内会だより作成に携わり10年。記述内容の間違いや、誤字・脱字がないようにパソコンの読み上げてくれる機能なども使って校閲・校正を行っています。しかし、残念ながら前号ではミスを見逃してしまいました。「近くて見えぬはまつげ」。気を引き締めて取り組みたいと思います。(A.S)